

# シルバーふっさ



2024年

1月発行

Vol.1

公益社団法人福生市シルバー人材センター

197-0024 福生市牛浜163福生市さくら会館内

TEL.042-553-3261 FAX.042-553-0041

E-mail.fussa-sc@sjc.ne.jp

http://fussa.silver-jc.com

会員数 692名

男 483名

女 209名



2023/11/30現在



ご挨拶



会長 辻村 洋一

新年を迎えて明けましておめでとうございます。

令和6年の新しい年を会員の皆様はどのような希望と抱負を持って迎えられましたでしょうか。

私は、とにかく何事もなく無事に毎日を過ごし、健康で人に迷惑をかけないで生きていきたいと、毎年年初に誓っています。しかし、昨年は不注意で転倒し、手首を骨折したため、現在もリハビリに通っています。皆様もフレイル※下記参照という言葉聞いたことがあると思いますが、歳を重ねてからの回復には時間がかかりますので、KY（危険予知）に気を配りましょう。また、年齢に合わせた運動をして体力作りを行ってください。

安全管理委員会では、会員の皆様の安全の認識向上を図るため、自転車・自動車運転の安全講習会を行っています。今後は、転倒防止の講習会のような、健康維持のための体力作り講座も考えております。

さて、今年では会員の拡大を最大施策といたします。現在、総務部会では月に一度の入会説明会と約3ヶ月に一度の出張説明会を開催、広報部会ではイベント時に会員募集のチラシ配り等をして勧誘活動も行っています。おかげさまで説明会参加者は増えつつあります。

2025年には65歳以上の人口は3,657万人以上となり約3人に1人は65歳以上、約5人に1人が75歳以上とされています。そんな中、定年延長、継続雇用制度等の影響もあり、シルバーで働き始める年齢がさらに高齢化しつつあります。そのような中、短時間就業でシェアリングできるシステム作りも検討したいと思います。また、公共事業の長期間就業者に新人への就業の譲り渡しをお願いしていましたが、譲ってくれた方にも会員が集まりづらい別の公共事業の就業へ移行していただけるルール作りも検討したいと思います。加えて、女性が活躍できる職域作りもさらに進めていかなければなりません。女性ならではの目線や感覚で、新たに取り組み直す職域もあると思います。一人でも多くの女性会員を拡大させなければと思っております。

これからも、理事会での意見交換を活発に行い、シルバー人材センターの「自主・自立、共働・共助」及び、「地域貢献」のモットーを徹底します。会員の皆様のご協力ご尽力を期待いたしております。

最後に、会員の皆様、ご家族の皆様の今年一年が健康で安全でありますことをご祈念いたします。

※フレイル：加齢や疾患によって身体的・精神的なさまざまな機能が徐々に衰え、心身のストレスに脆弱(ぜいじゃく)になった状態のこと



# きらり☆会員さんの声

- (1) 入会のきっかけ (2) 現在の仕事への就業のきっかけ (3) 仕事内容  
(4) やりがいや楽しいこと (5) 会員の皆さんへ一言

**【家事援助】** ～栃尾さんと矢野さんはお二人で同じご家庭の家事援助を行っています～

## 栃尾 壽子さん

- (1) 主人の母の介護のため、仕事を辞めて介護をしていました。7～8年介護を行ったのですが、仕事は続けたいと思っていたので、シルバー人材センターに応募しました。
- (2) 以前勤務していた仕事が、調理関係だったことや、食べることが好きだったこともあり、家事援助を希望しました。
- (3) 家事援助で調理を担当しています。  
仕事は週に1回1時間程度行い、就業先のご家族に食事を作っています。  
今まで作ったことが無い料理を頼まれたのを何とか調理したり、献立の材料が足りなくても冷蔵庫にあるもので急遽対応することなどもありました。
- (4) 就業先のご家族に喜んで貰えることがうれしいですね。『美味しかったよ』と言ってもらえるのもやりがいになります。
- (5) シルバーを通して色々な方と繋がることで、辛いときに話を聞いてもらえて頑張れます。自分も皆さんのお役に立てるよう元気で続けたいと思っています。



## 矢野 知子さん

- (1) 寮管理の仕事を65歳で退職したことをきっかけに福生市に転居しました。  
転居時は地域との繋がりも薄く、福祉センター等に通ったりしている時に、広報でシルバー人材センターを知り応募しました。
- (2) 地域会館管理を7年間就業した後、老人ホームの清掃に就き、その後、家事援助で現在の援助先のお宅の清掃を行っています。
- (3) 援助先のお宅の室内清掃を週1回2時間行っています。依頼者の方がとても親切で、『ゆっくりで良いよ』などと声を掛けていただけるので、楽しく仕事ができています。
- (4) 少しの清掃でも『きれいになったね!』と喜んで貰えることがやりがいです。就業先の方がほめ上手なので楽しく頑張っています。
- (5) 体力や知力が落ちてきたので、そろそろ引退かなと思いつつも、まだ続けたいと揺れ動いていますが、体が動く間はこの仕事を続けたいと思っています。



## 【学校管理】

### 郡司 光志さん

- (1) 定年退職するまで地元での活動は全くありませんでした。  
退職後は地域に少しでも役に立つことをしたいと思い入会しました。  
もう一つは、地域での仲間作りです。
- (2) 学校施設内の安全確保が第一の仕事と思っています。各教室や体育館などの施設や消灯の確認を行い、学校施設を使用する各種団体の受付や来校者の確認なども行います。  
就業時間は平日16:45から22:00まで、休日9:00から22:00までを二交代で行います。  
就業中は一人体制のため、緊急事態に備え警備会社と直結のモニターを活用して安全を確保しています。
- (3) 教職員の方から感謝の言葉をかけていただいたとき等に、やりがいを感じます。  
学校管理の仕事を行うようになってから、学校への思いが強くなり、現在福生三小コーディネーターやコミュニティスクール委員を引き受けています。
- (4) 人生の定年後の区切りとして、地元に貢献出来ることを考えて、楽しく仕事を行っています。





# 安全管理委員会からのお知らせ



東京都のすべてのシルバー人材センターは「安全はすべてに優先する」との基本理念のもと組織一丸となって、事故ゼロを目指す。

(公益財団法人東京しごと財団 HP より引用)

安全管理委員会としても事故ゼロを目指し、そのための取り組みとして、

1. 安全管理体制の充実
2. 事故防止措置
3. 健康対策の推進
4. 安全意識の普及啓発

以上の項目に取り組んでまいります。

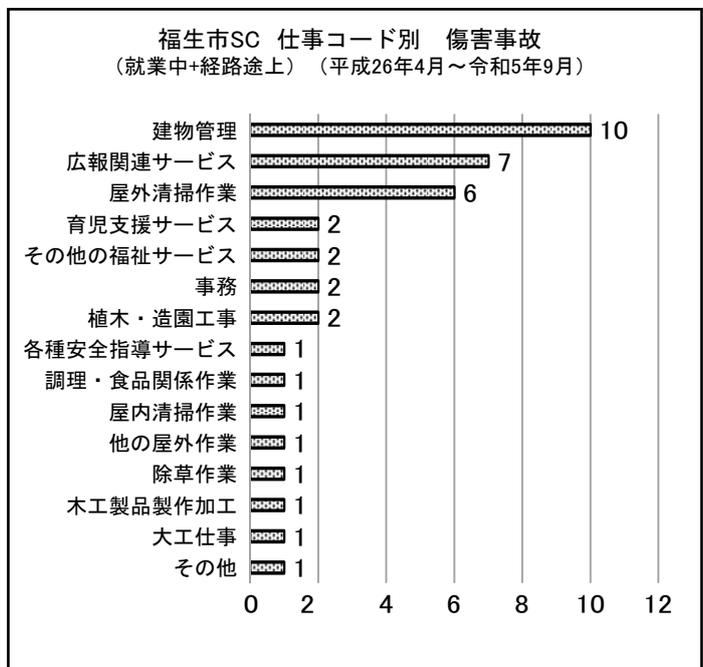
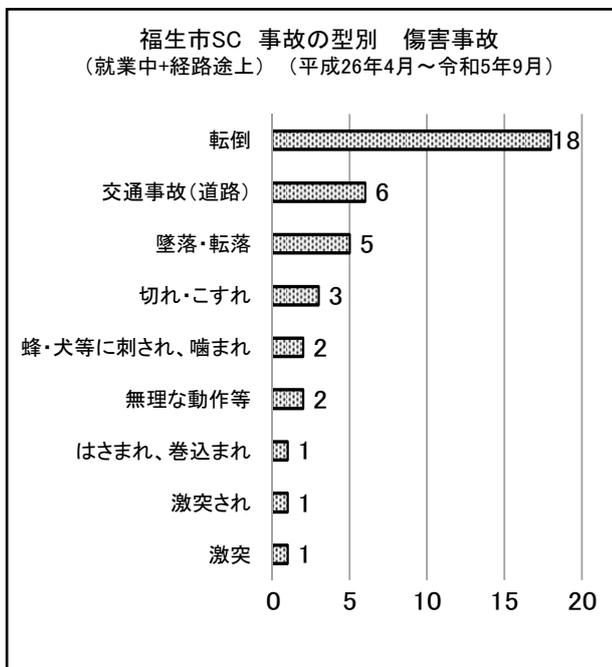
その中で事故防止のために身近にできるものとして、

1. 安全意識の高揚
2. KY（危険予知）活動の習慣化
3. 健康意識の向上
4. 加齢による身体機能の衰えの自覚

以上の項目を心掛け、安全就業に努めましょう。



福生市シルバー人材センターでの平成26年4月～令和5年9月までの事故発生件数、各項目別件数は下表のとおりです。



就業中、または経路途中での転倒事故が最も多く、建物管理に就業されている方の事故が多いという結果となりました。

転倒は季節問わず身近に発生するので気を付けましょう。

尚、寒い時期になります。防寒はもちろん、日陰や濡れた道路、凍結の恐れがあります。転倒等には十分気をつけてください。



# Smile to Smile(スマイルトゥスマイル)に登録を！！



会員専用サイト スマイルトゥスマイルに登録すると、ご自身の配分金明細をオンラインで確認できるようになります。今後、お知らせや就業情報等もタイムリーに皆さんにお伝えできるよう順次運用が始まる見込みです。まずは事務局にてご登録の手続きをお願いします。

原則として、今後登録が必須になります。早めのご登録にご協力ください。

## 令和6年度 配分金支払日のお知らせ

令和6年	4月分	5月17日(金)	10月分	11月15日(金)	
	5月分	6月14日(金)	11月分	12月13日(金)	
	6月分	7月16日(火)	12月分	1月17日(金)	
	7月分	8月16日(金)	令和7年	1月分	2月17日(月)
	8月分	9月13日(金)		2月分	3月14日(金)
	9月分	10月16日(水)		3月分	4月15日(火)

## 令和6年度 正会員会費について

令和6年度の正会員会費は、昨年度と同様に2,000円です。令和6年4月に就業をしている方で、2,000円以上の配分金がある場合は、4月分配分金(5/17支払分)から会費を控除します。その他の方には5月末頃に振込取扱票を郵送しますので、コンビニや事務局でお支払ください。

## 配分金収入等にかかる確定申告について

シルバー人材センターは、仕事を請負、または委託の形式で受託し、会員に就業を依頼している関係から会員との雇用契約は成立しません。従って就業による収入は賃金にならないので会員の所得税は必要であれば自己申告する(本人が行う)こととなります。配分金収入は、所得税法上『雑所得』に区分されます。

申請方法の詳細は、最寄りの福生市課税課または青梅税務署へお問い合わせください。

## 会員を募集しています

会員を募集しています。入会説明会は月に一度開催し、出張説明会も年に数回開催しています。ご友人・知人・ご家族に入会を勧めていただくようご協力をお願いします。新規会員紹介制度もあります(条件あり)。

## 編 集 後 記

この度、会報誌「よろこび」からWeb広報への移行の前段階として、暫定的にはなりますが、年に一度「シルバーふっさ」を発行させていただき運びとなりました。会員の皆様・理事・事務局をつなぐ紙面に少しでもなれば大変嬉しく思います。 広報部会